

## 『インドネシア・2 大漁港視察と水産セクター企業とのネットワーキング』 —外資最低資本金引き下げを受けた日本企業のビジネス機会の創出に向けて—

主催：インドネシア投資下流産業省（BKPM）

わたくし、JICA 専門家・投資促進政策アドバイザーとしてインドネシア投資下流産業省に派遣されております天谷浩之と申します。このたびインドネシア政府は、これまで外資企業に課していた会社設立時の最低資本金額 100 億ルピア（≒9000 万円）を 2025 年 10 月 2 日から 25 億ルピア（≒2250 万円）に引き下げました。これを受け同省では、多くの海洋資源を有するインドネシアの水産加工セクターにおける日本企業のビジネス機会の創出支援を目的に、2 大海洋漁港（ビトゥン港、チラチャップ港）の視察と同漁港内で操業する水産加工業者ならびに水産加工品流通業者など本セクターにおいて日本企業との協業に関心を寄せるインドネシア法人とのビジネスネットワーキングからなる FS 支援視察会を実施することにいたしましたのでご案内いたします。

インドネシア政府は現在、ニッケル、銅、錫、アブラヤシ、ココナッツ、海産物、ゴムをはじめとする数多くの天然鉱物資源の高付加価値化を図るため下流産業化政策を推進し、日本をはじめ広く外国から本分野への投資を呼びかけ、外資の協力を得ながら各種資源分野における加工産業の開発に取り組もうとしています。

同政策における重点分野の一つとして、マグロ、カツオ、イカ、鰹、イワシ、海藻はじめ豊富な海産資源を有する水産セクターの下流産業の振興を掲げ、特に世界最大の漁獲量を持つマグロについて現状十分な付加価値化や輸出機会が得られていないとして、今後 2030 年にかけて世界のマグロ市場が年 3%近い成長が予測される中で冷凍マグロに止めず、フィレ、缶詰・瓶詰、レトルト、練り製品等の開発、ならびにイカ、鰹、イワシ、海藻など他魚種の加工品開発にも取り組みながら国内市場での製品種類の拡大と輸入代替、さらに他のアセアン域内国等への輸出機会の拡大を図ることを喫緊の課題としています。

一方、日本の水産加工業界は現在、原材料確保の困難、人口減少と高齢化による市場規模の縮小とこれによる売上機会の減少、生産経費や流通経費の上昇に伴う利益率の低下、従業者不足等の課題に直面しており、日本政府の調査では今後 5 年間のうちに事業規模の縮小や事業転換、さらには廃業を考えている事業者が全体約 7,000 社のうち 18%も存在するなど多くの事業者が厳しい経営環境に置かれていることが報告されています。こうした状況において両国の水産加工業界が協力し合いながら互いの経営課題を克服していくことで事業の拡大ならびに事業再興を図れるのではないかと思料する次第です。

### 《現地視察・日尼企業ビジネスネットワーキングの開催》

そこで同省ではこのたび、インドネシア水産加工セクターへの事業展開にご関心をお持ちの日本企業を対象に下記要領により FS 支援視察会を実施することといたしました。

初日のプログラムでは、所管省庁からの本セクターの現況や振興施策等のブリーフィングの他、ジャカルタ商工会議所やインドネシア商工会議所、インドネシア若手起業家協会の会員企業をはじめ、水産加工品流通分野（小売、卸売セクター）での事業実績を有し、投資家、バイヤー、ディストリビューター等として日本企業との協業に関心を持つインドネシア法人、二日目からの漁港視察においてはマグロをはじめ両漁港内で加工事業を行うインドネシア水産加工業者（加工事業の協業先候補）とのビジネスネットワーキングおよび加工

場見学を実施いたします。大変貴重な機会かと存じますので、缶詰、瓶詰、練製品、海藻加工、乾製品、冷凍食品等の生産者ならびに関係サプライヤーなど、当地での生産品の日本市場での販売のみならずインドネシア他アセアン域内国等への海外事業展開にご関心をお持ちの日本企業におかれましてはこの機会に是非本視察会をご活用いただければと存じます。

ご承知のとおりここ数年目覚ましい経済発展を遂げているインドネシアでは 2022 年以降、国産化推進政策とこれに連動する形で各種完成品や加工品、部品、原材料に対する輸入障壁が敷かれており現在輸出ベースで水産加工品をインドネシアに販売されておられる日本企業におかれても今後同政策による影響が生じる可能性もございます。こうした状況も鑑み、将来的な現地生産化に向けた FS 調査の一環としても本視察会をご活用いただければ幸いに存じます。

つきましては、下記視察会スケジュールをご参照のうえ、参加を希望される企業におかれましては本サイト上の参加申込票に所定事項をご記入の上 1 月 28 日までにお申し込みいただきたく存じます。本視察会に参加されることでインドネシア政府から投資の確約を求められることは一切ございませんので、インドネシアでの新たなビジネス機会の創出に向けた FS 活動の一環としてご参加いただければ幸いです。

お申し込みいただいた企業には追って本視察会の詳細スケジュールおよび日本または他国からインドネシアに入国される方に必要となる VISA ならびにオンライン渡航・税関申告（健康状態と荷物の申告）についてのご案内をいたします。

なお、お申し込みの際しまして、国際線（日本や他国⇄ジャカルタ）・国内線航空券（ジャカルタ→マナド→ジョクジャカルタ→ジャカルタ）、宿泊施設、空港送迎、入国用 VISA の当方での代行手配ご希望の有無につきまして参加申込票にてお知らせください。代行手配を希望される参加企業へは当方が委託する当地旅行代理店から追ってご連絡させていただきます。代行手配をさせていただく場合は同代理店より所定の手数料をご請求させていただきます。

（視察予定の海洋漁港）尼政府が指定する全国 7 か所の海洋漁港（大規模）の内の 2 か所  
『北スラウェシ州・ビトゥン漁港』（北スラウェシ州、最寄空港：マナド空港）



（2025 年 9 月時点、出所/インドネシア海洋水産省）

操業船舶数：924 隻

漁獲量：53,970,991Kg

漁業生産額：1,211,068,428,000 インドネシアルピア（≒109 億円）

漁獲魚種（上位4種）：1.カツオ、2.キハダマグロ、3.ムロアジ、4.ソウダガツオ

### 『中部ジャワ州・チラチャップ漁港』（中部ジャワ州、最寄空港：ジョクジャカルタ空港）



（2025年9月時点、出所/インドネシア海洋水産省）

操業船舶数：1,408 隻

漁獲量：19,884,086Kg

漁業生産額：542,822,923,480 インドネシアルピア（≒49 億円）

漁獲魚種（上位4種）：1.キハダマグロ、2.トビイカ、3.カツオ、4.メバチマグロ

### 『現地視察・日尼企業ビジネスネットワーキングの実施概要』

下記視察プログラムは現時点の予定で今後内容に変更が生じる可能性がありますこと予めご承知おきください。

日程：2026年2月2日（月）～2月7日（土）

行程：2月1日（日）参加企業のジャカルタご到着（日本や他国からご参加の方）

#### 《1. 現地視察会1日目/初日説明会：2月2日（月）》

於：終日ジャカルタ市内 Grand Sahid Jaya 内会議室

所管省庁からの施策説明と日尼企業ビジネスネットワーキング

（予定：9:00-16:00）

- ・オリエンテーション（視察行程の説明、参加企業の自己紹介等）
- ・JICA等、日本側公的機関の支援スキームの紹介  
（政府所管機関担当官（投資下流産業省、海洋水産省、商業省等からの説明）
- ・インドネシアの経済、投資動向、外資誘致施策
- ・下流産業化政策の概要と水産加工セクターの振興に向けた外資への期待
- ・税制インセンティブ、水産加工セクターにおける投資規則
- ・インドネシアの水産加工業の現状と課題、開発施策

- ・水産加工品の国内市場（流通価格、需給バランス、輸入割合、輸入規制等）
- ・ジャカルタ商工会議所、インドネシア商工会議所、インドネシア若手起業家協会（HIPMI）各経済団体の会員企業とのビジネスネットワーク（小売業、卸売業はじめ水産加工品の流通業者を中心に参加を呼びかけます）

## 《2. 現地視察会2日目：2月3日（火）》

- 朝、初日セミナーを実施したホテルを出発→スカルノハッタ空港へ移動
- ・スカルノハッタ空港 9:20 発/ガルーダ航空(GA600) →マナド空港 13:45 着
- 着後、借上げバスでビトゥン漁港へ  
（北スラウェシ州投資局、海洋水産省ビトゥン漁港担当官からブリーフィング）
- ・北スラウェシ州の水産加工業の現状と操業の状況、ロジスティクス及びコールドストレージインフラの状況、ビトゥン漁港の概要と港内水産加工会社の操業の状況、漁港に隣接する経済特区の概要説明、漁港視察（マナド泊）

## 《3. 現地視察会3日目：2月4日（水）》

- 終日。漁港内の水産加工業者とのビジネスネットワーク、港内水産加工会社の加工場の見学、漁港に隣接するビトゥン S E Z の視察（マナド泊）

## 《4. 現地視察会4日目：2月5日（木）》

- ・マナド空港 06:00 発/ライオン航空(JT741)→マカッサル空港 07:45 着、乗り換えマカッサル空港 08:40 発/(JT641)→ジョクジャカルタ空港 09:35 着
- 着後、借上げバスでチラチャップ漁港へ  
（チラチャップ県投資局、チラチャップ漁港担当官からブリーフィング）
- ・チラチャップ県の水産加工業の現況、ロジスティクス及びコールドストレージインフラの状況、漁港の概要と港内水産加工会社の操業の状況、水産加工用地（工業用地）の概要と各種投資インセンティブ、漁港視察、漁港内の水産加工業者とのビジネスネットワーク（チラチャップ泊）

## 《5. 現地視察会5日目：2月6日（金）》

- 終日。水産加工用地（工業用地）視察、港内水産加工会社の加工場の見学、各施設の視察終了後、借上げバスでジョクジャカルタへ（ジョクジャカルタ泊）

## 《6. 現地視察会6日目：2月7日（土）》

- ジョクジャカルタ市内視察（ボロブドゥール寺院など）、借上げバスにてジョクジャカルタ空港へ  
ジョクジャカルタ空港 16:50 発/ガルーダ航空(GA213)→ジャカルタ空港 18:10 着後解散。日本や他国への帰国者は各自搭乗手続き。市内滞在者は借上げバスにて初日説明会を実施したホテルへ送迎します。

【参加経費】参加企業には下記の経費のご負担をお願いします。

- ・航空券代：（国際線）日本⇄ジャカルタ（日本や他国からご参加の方）  
（国内線）ジャカルタ⇒マナド⇒ジョクジャカルタ⇒ジャカルタ
- ・空港送迎代（必要な場合）：スカルノハッタ空港（ジャカルタ）⇒宿泊ホテル
- ・宿泊代：インドネシア滞在中の宿泊代（ジャカルタ、マナド、ジョクジャカルタ）
- ・その他：インドネシア入国 VISA 代、渡航に関わる保険、インドネシア滞在中の飲食代、その他個別行動に伴う諸経費

(JICA 負担経費) 下記経費は JICA が負担します

- ・ジャカルタ市内、視察地（マナド、ジョクジャカルタ）での会議室借料
- ・視察時の送迎車両借上代（参加者のジャカルタ到着時、出発時の空港ホテル間の送迎を除きます）
- ・通訳者備上代（日本語⇄インドネシア語）、同時通訳用設備一式

『使用言語』：日本語とインドネシア語の同時通訳、漁港視察時は原則逐次通訳

『お申込み』

本視察会への参加を希望される方は、下欄もしくは下記URLの参加申込票に所定事項をご記載のうえ1月28日までにお申し込みください。全行程の参加が難しい方は一部行程のみの参加も可能ですので申込票でその旨お知らせください。申込票の受信後2営業日以内に受信確認の返信を差し上げます。期限までに受信確認メールが送達されない場合は誠に恐れ入りますが本件担当の天谷宛にメール、WhatsApp 或いは電話にて受付状況をお問い合わせくださいますようお願いいたします。

(申込用URL)

<https://forms.gle/39Gwgd7bkvonh32e6>

『参加定員』 40 社（先着順にて定員になり次第締め切らせていただきます）

『最少催行人数』 10 社

(お申し込み先)

インドネシア投資省投資促進政策アドバイザー 天谷浩之（あまや ひろゆき）

E-mail: [amaya.jica.bkpm@gmail.com](mailto:amaya.jica.bkpm@gmail.com) 携帯電話・WhatsApp：+62-811-1952-7174

## 『インドネシア・2大漁港視察と水産セクター企業とのネットワーキング』 参加申込票

本視察会への参加を希望される方は下欄の所定事項をすべて英語でご記載のうえ  
1月28日までにお申し込みください。

※記載いただいた内容は本視察会以外の目的には使用いたしません。

申し込み先：[amaya.jica.bkpm@gmail.com](mailto:amaya.jica.bkpm@gmail.com)

1)参加形態	全行程参加 ・ 一部行程のみ参加  (どちらかに○印)
一部行程のみ参加の方へ 参加される行程番号に○印をつけてください。追って委託旅行会社より移動手段等の確認連絡をさせていただきます。	1, 2, 3, 4, 5, 6
2)御社名	
3)御社 URL	
4)所在地 (日本や他国からご参加の場合は当該所在地、インドネシア現地法人からご参加の場合は当該法人の所在地)	
5)参加者名 (複数ご参加の場合は各々本票をお送りくださいますようお願いいたします)	
6)所属部署	
7)お役職	
8)メールアドレス	
9)携帯電話番号 (インドネシアで通話可能な番号)	
10)『航空券、宿泊施設等の代行手配のご希望有無について』	
(1)インドネシア入国 VISA 本視察会への参加のみを目的に入国される場合、B2-Business(Visa on arrival)Visa を取得されることを推奨します。 (注) 本 Visa で自社工場等内での工程管理等の業務はできません。	希望有り ・ 希望無し
(2)国際航空券 (日本または他国⇄ジャカルタ) ※原則、参加者ご自身でのご手配をお願いします	希望有り ・ 希望無し
(3)ジャカルタでの宿泊ホテル	希望有り ・ 希望無し (禁煙 or 喫煙)

<p>推奨ホテル：初日セミナーを実施するホテル（Grand Sahid Jaya（※原則、参加者ご自身でのご手配をお願いします）→ホテルサイト <a href="https://sahidhotels.com/grand-sahid-jaya-jakarta/">https://sahidhotels.com/grand-sahid-jaya-jakarta/</a></p>	
<p>(4)空港送迎（ジャカルタ到着時のホテルまでの送迎）ご宿泊ホテルの送迎サービスを代行手配いたします</p>	<p>希望有り ・ 希望無し</p>
<p>(5)国内航空券（ジャカルタ⇒マナド⇒ジョクジャカルタ⇒ジャカルタ）</p> <p style="text-align: center;">希望有り ・ 希望無し</p> <p>予定フライト</p> <p>2/3:スカルノハッタ空港 9:20 発ガルーダインドネシア(GA600)、マナド着 13:45 着</p> <p>2/5:マナド空港 06:00 発ライオン航空(JT741)→マカッサル空港 07:45 着、乗り継ぎ、マカッサル空港 08:40 発ライオン航空(JT641)→ジョクジャカルタ空港 09:35 着</p> <p>2/7:ジョクジャカルタ空港 16:50 発/ガルーダ航空(GA213)→ジャカルタ空港 18:10</p> <p>※安全性と座席の確保、視察会運営の効率性の観点から原則当方で代行手配をさせていただきたく、なるべく“希望有り”のご選択をお願いいたします。航空券のお渡し方法やキャンセル規定、ご精算方法につきまして追って委託旅行代理店よりご案内させていただきます。</p> <p>※ご都合によりご自身での手配を希望される場合は“希望無し”をご選択ください</p>	
<p>(6)現地視察先での宿泊予定ホテル</p> <p>（マナド）Best Western The Lagoon Hotel</p> <p>（チラチャップ）ASTON Inn Cilacap</p> <p>（ジョクジャカルタ）Harper Malioboro Yogyakarta by ASTON</p> <p>※視察会運営の効率性の観点から原則当方で代行手配をさせていただきたく、なるべく“希望有り”のご選択をお願いいたします。宿泊予約票のお渡し方法やキャンセル規定、ご精算方法につきまして追って委託旅行代理店よりご案内させていただきます。</p> <p>※ご都合によりご自身での手配を希望される場合は“希望無し”をご選択ください。</p>	<p>希望有り ・ 希望無し</p> <p>（禁煙 or 喫煙）</p>

**(航空券をご自身で手配される際のご注意)**

本視察会実施前に天災や自然災害等により視察会の実施が困難となる可能性もございますことから航空券をご自身で手配なされる方におかれましては払い戻し可能なチケットをご手配いただきますようお願いいたします。

以上